

3店舗の合同オープニングセレモニー 街なかを元気づける市民の交流スペース

3月3日、「健康ま〜じゃん けんこうま〜じゃん 雀健」すけけん「カラオケひろばふらっと」「白河ブランドアンテナショップ」の合同オープニングセレモニーが行われました。

健康ま〜じゃん（飲まない・賭けない・吸わないをモットーに行うゲーム）とカラオケひろばでは、1人で来ても健康麻雀・カラオケができます。また、白河の特産品等が買える場としてアンテナショップが作られました。



友月山プロムナード開通式 散歩道が完成

2月27日、友月山プロムナードの開通式が行われました。プロムナードとは、フランス語で散歩（道）という意味があり、谷津田川沿いのせせらぎ通りから友月山公園までを散策できる道となっています。

長年、友月山の清掃活動を行っている白河飲料マップ会の石原義人代表は、「このプロムナードが地域の発展につながる道となってほしい」と述べていました。



体育・文化成績優秀者表彰式 栄光と健闘をたたえて

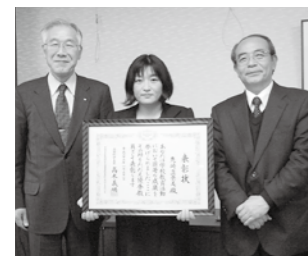
2月21日、文化センター（中田）で、平成22年度体育・文化成績優秀者表彰式が行われました。

体育競技や文化活動において、優秀な成績を収めた市内小・中学校の児童・生徒総勢117人が表彰されました。受賞者を代表して、鈴木康史さん（白二中3年）が、「この賞を誇りに、新たな目標に向かって、向上心を持って取り組んでいきたい」と述べました。



先崎真奈美さんが文部科学大臣優秀教員表彰を受賞

ちょっといいはなし



▲先崎教諭（中央）

1月31日、関辺小の先崎真奈美教諭が文部科学大臣優秀教員表彰を受けました。同僚に授業を公開し、個別指導を効果的に取り入れ、保護者との連携を密にする取り組みなどが評価されたものです。

2月28日、(株)中商（中上サト子代表取締役）から、100万円が、愛の基金へ寄付されました。



皆さんの善意を
写真で紹介します。

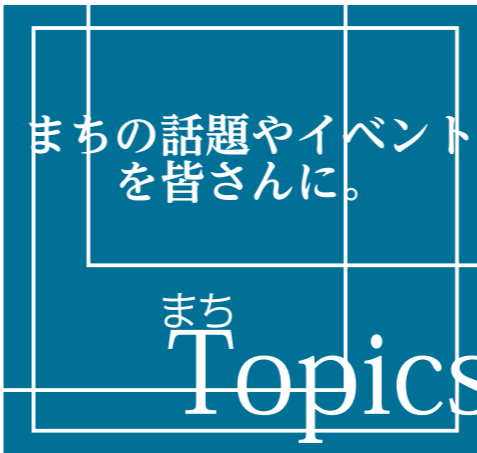


▲菅原会長（左から2番目）

2月24日、奥州白河和太鼓クラブ（菅原幸夫会長）から、3万円が、ふるさと文化振興基金へ寄付されました。



2月23日、(株)NTT東日本福島郡山支店（今田齊支店長）から、耳や言葉の不自由な方のために、電話お願ひ手帳50冊、ふれあい速達便（FAX送信用紙）80冊が寄贈されました。



▲懇談会の様子

しらかわ大使懇談会 市にゆかりのある大使と意見交換

2月23日、東京都内のホテルで「しらかわ大使」との懇談会が行われました。しらかわ大使とは、本市の魅力在全国に普及・広報するために、平成21年に本市とゆかりのある6人の方に委嘱されたものです。住友ゴム工業取締役会長の浅井光昭さん、日本画家の今井珠泉さん、元NHK福島放送局長の田口信太郎さん、ファルテック社長の戸井田和彦さん、「分けとく山」総料理長の野崎洋光さん、元警察庁交通局長の人見信男さんの皆さんが鈴木市長や伊藤教育長らと白河の素材を生かしたまちづくりについて意見を交換しました。



▲褒章を受賞した今井さん

また、紺綬褒章を受賞した今井珠泉さんに鈴木市長から褒章が伝達されました。これは、今井さんが平成21年の日本美術院展覧会（院展）で文部科学大臣賞受賞を記念して市に作品を寄贈したことによるものです。

歴史まちづくり計画認定式 歴史まちづくり計画が国認定

「白河市歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり計画）」が2月23日、国の認定を受け、国土交通省（東京都千代田区）で小泉俊明国土交通大臣政務官から鈴木市長に認定証が交付されました。国認定は、県内では初めて、東北でも青森県弘前市に次いで2番目です。また、同計画と中心市街地活性化基本計画の両方の国認定は、全国でも本市を含め6市のみです。

